

SAMPLE

特集レポート No. 102

人材ビジネスの潮流の変化

Strictly Confidential



2022年5月12日

- 人口の減少や少子高齢化により労働力不足が懸念される中、人材派遣や人材紹介といった人材ビジネスが注目を集めている。これらのビジネスは法規制の改正や広告宣伝による認知度の向上から市場が拡大しており、働き方の多様化や転職市場の活発化を後押ししている
- 本レポートでは、「人材派遣」、「業務請負」、「人材紹介」、「採用サービス（求人広告）」の4つの人材ビジネスに焦点を当て、市場の動向や成長する市場の中でのビジネスモデルの変化について論じる。また、ビジネスモデルの変化にともなう営業活動の変化についても言及する

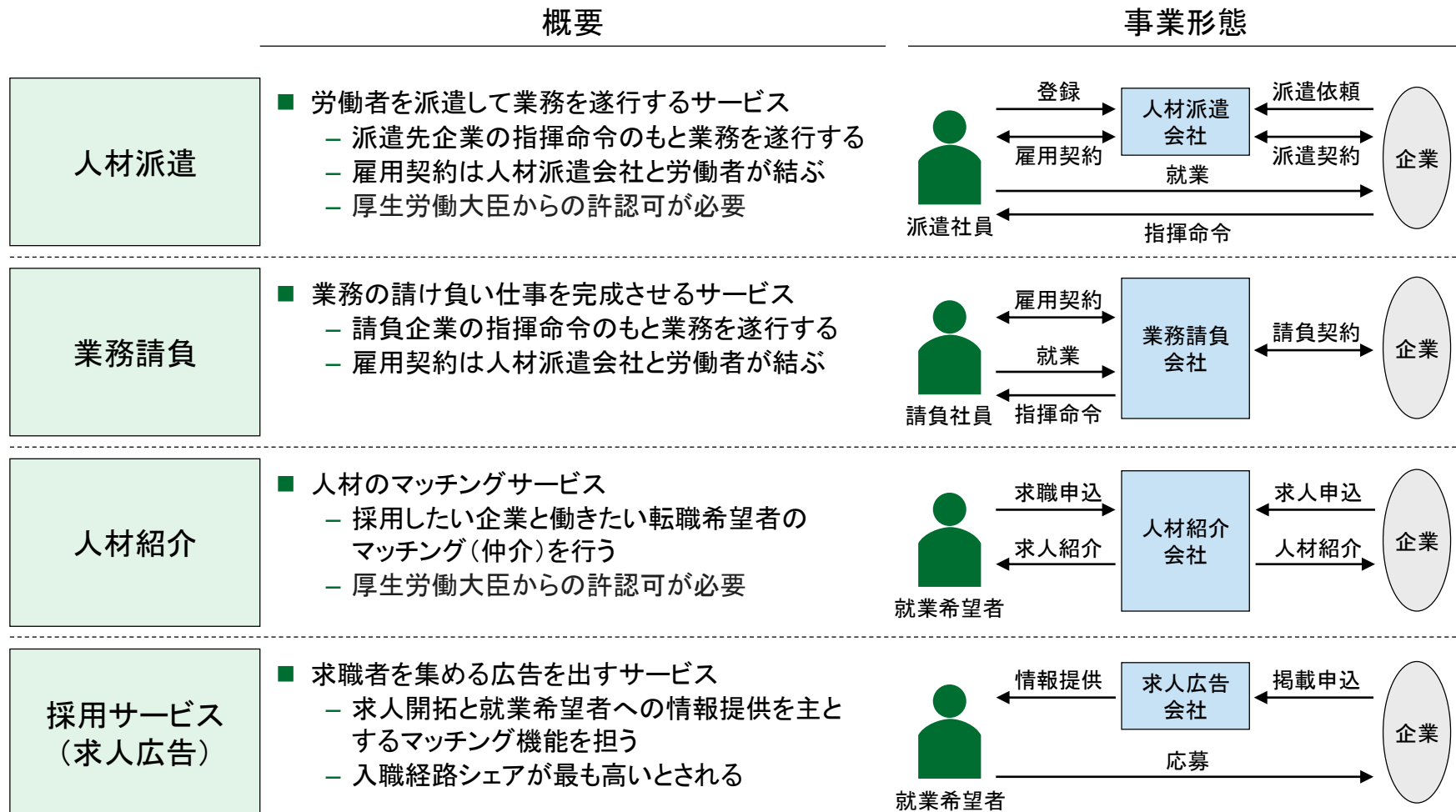
本資料の流れ



- I. 人材ビジネスの市場動向
- II. 人材ビジネスのビジネスモデルの変化
- III. 人材ビジネスの営業活動の変化

主要な人材ビジネスの種類

- 主要な人材ビジネスとして「人材派遣」、「業務請負」、「人材紹介」、「採用サービス」の4つを取り上げる



主要なプレイヤー

- リクルートホールディングス、パーソルホールディングス、パソナグループが3大グループとして幅広くビジネスを展開する

国内3大グループ

リクルートホールディングス

パーソルホールディングス

パソナグループ

人材派遣

アデコ

ウィルグループ

パーソルホールディングス

パソナグループ

マンパワーグループ

ランスタッドホールディングス

リクルートスタッフィング

ワールドホールディングス

業務請負

SCSK

NTTビジネスアソシエ

KDDIエボルバ

TMJ

トランス・コスモス

パソナグループ
(BPOサービス事業)

ベルシステム24

りらいあコミュニケーションズ

人材紹介

アデコ

MS-Japan

ジェイエイシーリクルートメント

パーソルキャリア
(旧インテリジェンス)

パソナ

ヒューマン・アソシエイツ・
ホールディングス

マイナビエージェント

リクルートキャリア

採用サービス

Indeed Japan
(リクルートが2011年に買収)

ウオンテッドリー

エン・ジャパン

キャリアデザインセンター

パーソルキャリア
(旧インテリジェンス)

ビジョナル(ビズリーチ)

リブセンス

マイナビ

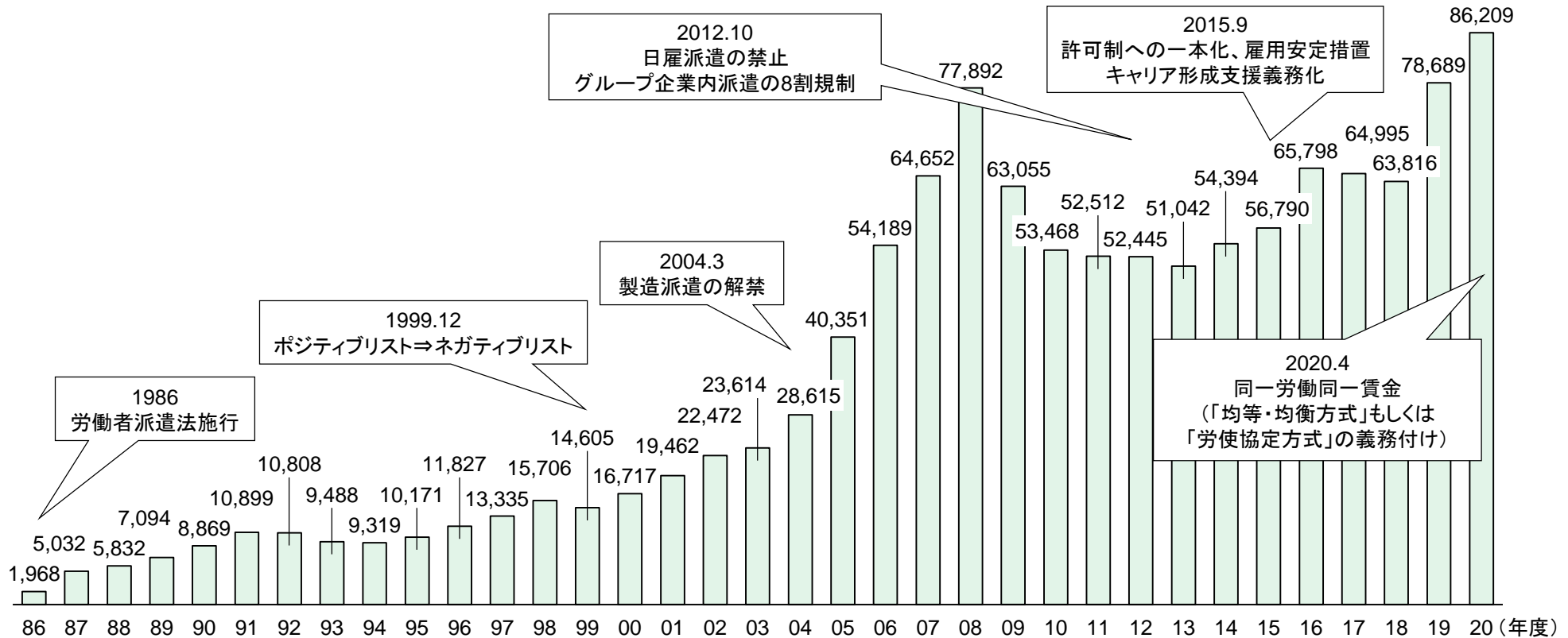
注： 各人材ビジネスの主要プレイヤーは五十音順で記載

人材派遣市場の動向

- 人材派遣市場の市場規模は派遣法の改正もあり拡大傾向にある
 - コロナ禍では業務プロセスの見直し等にもなうIT人材向けの案件の需要が大幅に拡大

労働者派遣事業に係る売上高および主な派遣法改正

(単位: 億円)



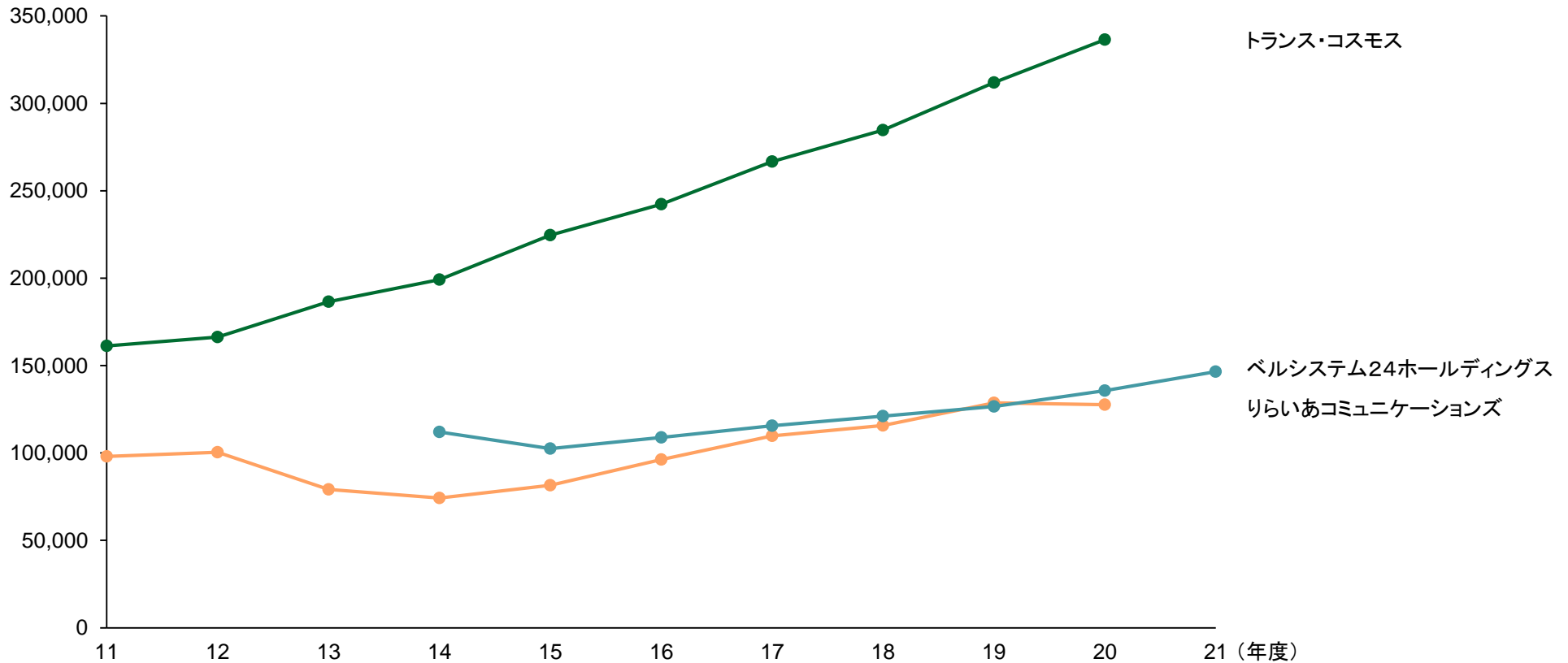
出所: 厚生労働省「労働者派遣事業の事業報告の集計結果」

業務請負市場の動向

- 業務請負(BPOサービス)の需要拡大により大手3社の売上は拡大傾向にある
 - トランス・コスモスは他社との協業によりBPOサービスの幅を広げることで高成長を維持している

大手3社の売上高推移

(単位: 百万円)

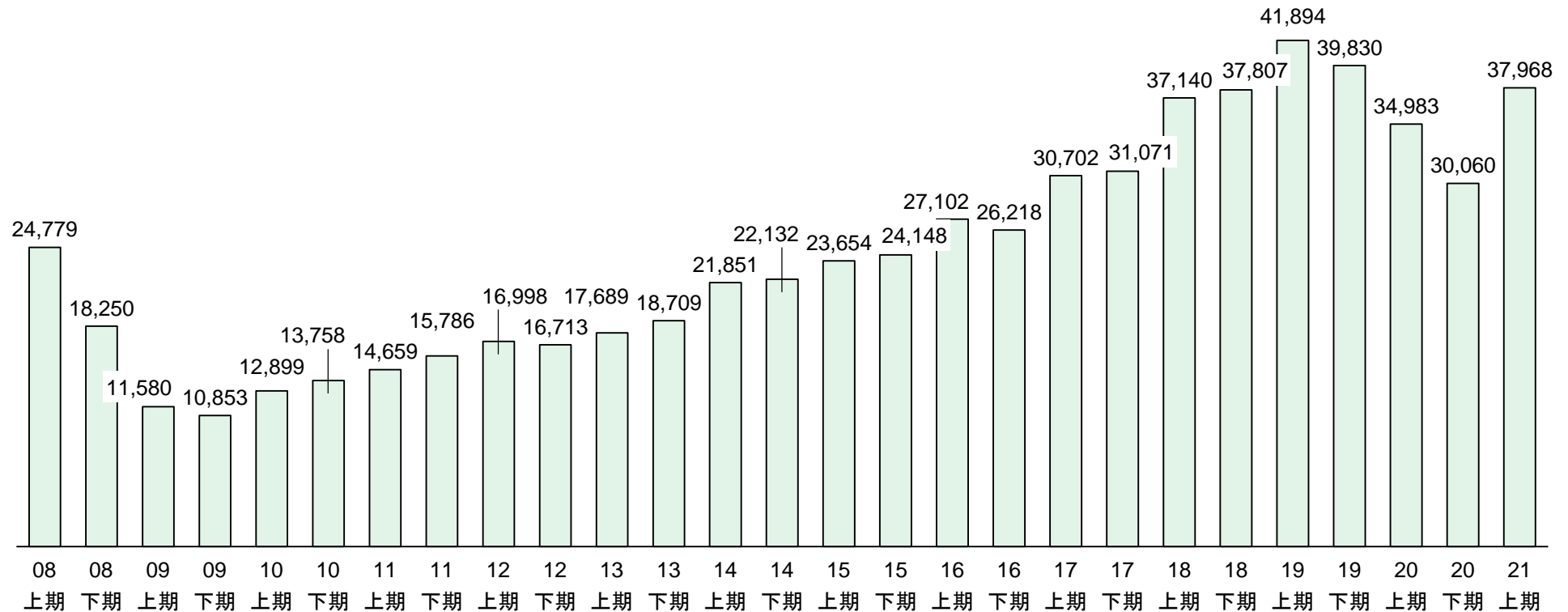


人材紹介市場の動向

- 人材紹介市場は2009年以降、景気回復の影響や人材紹介サービスの認知度の高まりを受け成長を続けており、コロナ影響で一度落ち込んだものの、2021年には回復の傾向が見られている
- 特に、IT関連の技術者や日系企業の海外進出にともなうグローバル人材などを中心に求人が活発である

人材紹介大手3社*1 転職紹介実績

(単位: 人)



注: *1. 大手3社はジェイエイシーリクルートメント、パーソルキャリア、リクルートキャリア

出所: 一般社団法人 日本人材紹介事業協会

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

